

令和2年8月8日（11月18日一部修正追記）

在学生、ご家族の皆さま

後期授業について

東京家政大学
東京家政大学短期大学部
学長 山本和人

本学では、新型コロナウイルス感染症に対して皆さんの健康を第一に考え、前期授業は原則としてWebを利用したオンライン授業としました。新入生の皆さんは、入学後一度もキャンパスに来る機会がないまま、在校生の皆さんは活動が制限される中で、精神的なつらさ、不安や心配等が多々あったことは想像に難くありません。慣れないオンライン授業に対して皆さんのご理解とご協力により板橋校舎は8月7日をもって、狭山校舎は8月5日をもって前期授業を終了することができました。（別添「新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動制限指針（東京家政大学）」ステージ2の判断のもと板橋校舎では、実験・実習・実技等の授業科目で、教育内容から対面の補講が必要であると判断した科目について、8月17日以降9月19日までの間で夏期補講を実施いたします。）

後期授業は、板橋校舎は9月21日から、狭山校舎は9月14日から開始予定ですが、政府による緊急事態宣言解除後、社会経済活動のレベルが段階的に引き上げられている一方で、首都圏の新型コロナウイルス感染者数は再び増加に転じてきています。

こうした状況の中で、「活動制限指針」ステージ2を想定し、後期の授業実施についても、皆さんと皆さんのご家族の健康を第一と考え、オンライン授業を優先することとしました。精選した実習・演習を中心に、「換気の悪い密閉空間」「多くの人の密集」「近距離での会話」の3つの密を回避する基本的な対策を徹底し、学校入構時の検温、教室で授業を受ける学生数を教室定員の半分以上とすること、アルコール等の消毒体制を整えること等々、大学として万全な感染症対策を講じた上で、教室での対面授業を30%ほど行います。

対面授業のためだけに、地方や海外から首都圏に移動する必要はありません。

欠席する学生に対しては不利益にならない配慮をいたします。感染拡大が収束しない情勢の中で、本学は、皆さんの安全確保、感染拡大防止という社会的責任を第一に考えながら、教育機関としての使命を果たし、学生生活の充実を図るために、教職員一同、全力でサポートします。

これまでと異なる日常に戸惑いを感じながらも、希望を胸に日々挑戦することを皆さんには期待しています。

今回の決定に対しては様々なご意見があろうとは思いますが、皆さんおよび皆さんの大切な方々を守るための決定です。ご理解、ご協力をお願いします。

後期の対面授業等の時間割については、学科ごとに、8月17日までに、学生ポータルでお知らせする予定です。また、後期の授業科目ごとの実施予定などについては、8月31日までには、各授業担当教員から、マナバにより、履修学生へ連絡する予定です。

なお、今後の感染状況の変化に応じて、授業形態を変更する可能性があります。その際は、大学ホームページや学生ポータルでお知らせいたしますので、定期的に確認してください。